

## ナチュラルリーズ モイストケアアイクリーム

表示名称	配合目的	成分説明
水	基材	ビーワン原水
オリーブ果実油	油性基材・保湿成分	オリーブの果実を圧搾して得られる植物性油脂
ダイマージリノール酸(フィトステリル/イソステアリル/セチル/ステアリル/ベヘニル)	油性基材・保湿成分	植物由来原料のみを使用してつくられた純植物性のペースト状の油性成分。ヘアケア、スキンケア製品にしっとりとしたエモリエント効果を付加します
BG	保湿成分	肌に低刺激で保湿と抗菌の作用があります
グリセリン	保湿成分	ヤシ由来の保湿成分。化粧品でよく使用されます
プロパンジオール	保湿成分・溶剤	植物デンプンを発酵させて得られる100%植物由来成分。保湿性に優れグリセリンと併用すると相乗効果で保湿効果が高まります
PEG-75	保湿成分	水によく溶ける性質をもっており、配合された製品の水分揮発を防ぎ、品質を保持する効果やとろみをつける効果があります。スキンケア化粧品やヘアケア製品などに広く配合されています
ジメチコン	保湿成分	最も代表的なシリコーン油。撥水性や潤滑性に優れており、ベタツキ感が少なく、薄く均一の皮膜を形成し、なめらかな感触を肌や髪に与えます
スクワラン	油性基材・保湿成分	オリーブ油から抽出された植物性スクワラン。感触が非常によく皮膚刺激もほとんどないため様々な化粧品に使用されており、とくに肌に皮膜を貼って水分を逃がさないエモリエント効果に優れています
ペンチレングリコール	油性基材・保湿成分	グリセリンなどと同様の無色透明の多価アルコール。さっぱりした感触の保湿剤です また抗菌性も有しております
ステアリン酸グリセリル	乳化剤	高級脂肪酸であるステアリン酸(油性成分)とグリセリン(水溶性成分)で構成され乳化剤の効果を持つ
トリ(カプリル酸/カプリン酸)グリセリル	油性基材・保湿成分	ココナッツオイルで有名な中鎖脂肪酸から構成されているため、天然の油脂に比べて酸化安定性に優れており、粘性が低く、サラツとしていて伸びが良く軽い質感です
ベヘニルアルコール	乳化剤	融点が高いのでワックス分で温度耐性の強い製品をつくることができます。乳化安定剤として乳液やクリームによく使用されます
加水分解ヒアルロン酸	保湿成分	浸透型ヒアルロン酸とも呼ばれ高分子ヒアルロン酸に比べて軽い使用感を実現し、水分保持力を高めたもの。
環状リゾホスファチジン酸Na	整肌成分	ダイズ由来の成分。肌のコラーゲン繊維を引き締め、シワを改善し、また体内のヒアルロン酸合成も促進します
ヒメフウロエキス	整肌成分	紫外線による皮膚の光老化に深く関わっている酵素「トリプターゼ」の働きを阻害し、シワ発生を予防します
α-アルブチン	整肌成分	アルブチンは美白成分「ハイドロキノン」を参考に開発された、厚生労働省が認可している美白成分。高い美白効果がある反面、副作用のリスクもあるハイドロキノンよりも安全な成分として作られました

表示名称	配合目的	成分説明
マンダリンオレンジ果皮エキス	整肌成分	角質細胞一つ一つにハリを与えることで表面を整え、皮膚深部からの内部反射光(肌の色として認識される光)を増やすことにより、肌に奥行きのある透明感を与えます
黒砂糖エキス	保湿成分	保湿力に優れ肌に潤いを与えて、肌荒れの改善が期待されます
イリス根エキス	整肌成分	真皮のコラーゲン、エラスチン線維組織を保護し肌のハリを保つ働きが期待される。
アーチチョーク葉エキス	毛穴改善	老化因子の抑制、メラニンの増殖を抑制することで毛穴を目立たなくします
セイヨウオオバコ種子エキス	整肌成分	タンパク質が糖と結びつく糖化反応を抑える働きがあります。糖化を予防することで、肌の透明感、シワやたるみへの効果が期待されます
ニンジン根エキス	整肌成分	皮膚を滑らかにし、保護する。β-カロチンによるビタミンA効果を中心とする皮膚保護作用があります
プルーン分解物	整肌成分	プルーン分解物のエキス。表皮細胞へのメラニン取り込みを抑制する「メラニンダイエット」による美白素材
ダイズ油	保湿成分・溶剤	オリーブ果実油と同じように、皮膚コンディショニング効果やエモリエント効果があります。ニンジン根エキスの抽出溶媒として配合しています
酢酸トコフェロール	酸化防止剤	酸化を抑制することでニキビ等肌荒れを防ぐ。エイジングケア化粧品によく使用されています
グリセリルグルコシド	保湿成分	通称復活の木と呼ばれる植物「ミロタムヌス」から抽出した原料となる保湿成分。
イソステアリン酸	油性基材・保湿成分	安定性が高く、常温で液状の脂肪酸のため、常温で固定状のステアリン酸などと併用することにより、安定性を高めたり、肌へのなじみをよくしたり、感触のよい製品に仕上げる働きをします
イソステアリン酸PEG-60グリセリル	乳化剤	クリーム・乳液・化粧水等の乳化剤。可溶化剤として優れている
フェノキシエタノール	防腐剤	自然界でも玉露や緑茶などの天然成分として存在し、パラベンに代わる防腐剤として化粧品によく使用されます
ステアリルアルコール	保湿成分	皮膚を保護し、なめらかにする作用をもち、温和でべとつかない光沢を与えます
カルボマー	増粘剤	カルボマーは天然ガム質と違い、増粘効果、品質の均一性、温度変化に対する粘度の安定性に優れており、皮膚上でサラツとした感触の良さから、増粘剤の中では最も広く使用されています。
水酸化K	pH調整剤	水酸化Naとともに代表的に使用されるアルカリ剤(pH調整剤)です。

※各成分の働きは、一般的な性質を述べたものであり、製品自体の機能を示すものではありません。